令和３年度　第１回恵庭市文化財保護委員会

日　時　令和３年８月３日（火）

●会　議　次　第

１．　開　会

２．　議　題

（１）委員長・副委員長の選任について

（２）令和３年度主な事業計画について

３．　閉　会

令和３年度

第１回恵庭市文化財保護委員会

会　議　資　料

教育部郷土資料館

令和3年8月3日
文化財保護委員会
教育部郷土資料館

令和3年度郷土資料館事業計画（案）

事業名			期日	対象	趣旨	
展示事業	常設展示		通年 8月1日～26日	一般	郷土の自然・歴史・文化の展示解説 戦争資料展	
	カリンバ遺跡展（常設）		通年	一般	平成11年度に発掘調査されたカリンバ遺跡の大型合葬墓のレプリカをロビーに展示。特別展示室に重要文化財の漆塗り装身具（レプリカ）、玉類等を展示。	
	令和２年度発掘調査等成果展		4月24日～7月11日	一般	令和２年度中に発掘調査を実施したユカンボシE1・E13遺跡から発見された資料を中心に紹介。	
	企画展「漁川と人々のくらし」		7月24日～8月22日	一般	恵庭の母なる川と称される漁川と人々のくらしがどのように関わり、長い歴史を歩んできたのか紹介。	
	特別公開2021国指定重要文化財 カリンバ遺跡出土品展及び市内遺跡ミニ展示		中止	一般	埋蔵文化財整理室において普段は展示していない重文の漆塗り装身具（実物）を特別公開 。展示室が換気しにくく、新型コロナ感染拡大防止の為、今年度も中止予定。	
	（仮）遺跡から出土した金属製品の保存処理について		10月23日～11月27日	一般	令和元年度以降保存処理を行った遺跡出土の金属製品を展示し、保存処理についても写真パネル等で解説する。	
	令和3年新収蔵資料展		1月	一般	令和3年中に寄贈を受けた資料を紹介	
	「収蔵資料展」		随時	一般	収蔵資料の中からテーマを決めて展示	
教育普及事業	見学会・講座	・ふるさと散歩見学会	中止	一般	ボランティア共催事業。市内の歴史的スポットを見学	
		・カリンバ講演会	11/14	一般	新恵庭市史執筆陣（考古系）による「恵庭の歴史」をご講演いただく予定だったが、市史の刊行が令和３年度末にずれ込みそうなため、現在別の演題で検討中	
		・カリンバまつり	8/21	一般	勾玉作り、ベンガラ染め体験	
		・カリンバ土曜講座	4月～10月	一般	道央部の発掘調査　3回	
	観察会	・星空観察会	中止	一般市民	望遠鏡を使って惑星、星座の観察を行う（計6回実施予定）	
		・漁川の生きもの観察会	中止	小中学生	さけます・内水面水産試験場共催事業。 市内の川に生息する魚類・水生昆虫の観察	
	体験学習会		実施しない			
	レファレンス	レファレンスの実施	随時	一般	郷土の自然・歴史・文化にかかる市内外からの問い合わせに対して、調査し回答を行う。	
	資料活用	ふるさと教育宅配事業	6～11月	市内小学校	ふるさと教育の一環として、収蔵資料の内、貸出し対象資料となっている資料を各小学校に巡回させながら配送し、利活用の拡充を図る。	

令和３年度郷土資料館事業計画（案）

事　業　名		期　日	対　象	趣　　旨	
資料収集	・自然資料収集	通　年		自然情報の収集保存	
	・郷土資料収集	通　年		郷土資料の収集保存整理	
	・郷土史に関する調査	通　年		聞き取り調査・写真による記録保存	
	・高齢者の記憶に残る歴史的事柄の記録	通　年		個人が実際に体験し、記憶の中に残っている恵庭の歴史を「個人の記憶の記録」として保存	
	・収集資料の電子化	通　年		収蔵資料の電子化を行い、事務の効率化を図るとともに資料公開に備える	
史跡整備	・史跡整備（①水文環境調査、②環境整備）	４月～３月		①史跡及び周辺の表流水（旧カリンバ川）と地下水の水量、水流等を調査。今年度は職員によるデータ採取のみで、業者分析委託はＲ４年度を予定。②草刈り、ごみ拾い・花植え。	
	・北海道縄文のまち連絡会	書面会議予定	加盟28市町村	7月にニセコ町で総会の予定だったが、新型コロナの影響で書面会議となる予定。	
資料整理	西島松５遺跡出土資料整理	①4月21～23日、②1月13・14日		文化庁調査官が来恵し、西島松５遺跡から出土した資料のうち重要な擦文前期の資料を抽出する。恵庭市はその整理・指導の元、管理台帳作成や資料の磨き上げを行う。	
アイヌ政策	アイヌ墓副葬品等保管空調設備設置事業	４月～11月		恵庭の遺跡から出土したアイヌ墓副葬品等を恒温恒湿環境下で保管できる部屋を設置する。	
	アイヌ文化マスター育成事業	７月～2月	市内中高生	６名を公募し、アイヌ文化の講座や施設見学・体験を計８回行い、本市の多文化共生社会実現へのリーダーを育成する。	
	アイヌ文化学習見学会事業	7月31日	一般市民	公募した市民を大型バスで引率し、だて歴史文化ミュージアムと国立アイヌ民族博物館を見学・学習する。	
埋蔵文化財	発掘調査・試掘調査等	４月～３月		①個人住宅発掘調査（５～10月ユカンボシE1遺跡）、②試掘調査（島松寿町２遺跡など）、③工事立会（ルルマップ川17遺跡など）	
	金属製品保存処理	４月～３月		アイヌ文化期の土坑墓などから出土した刀や刀子など金属製品13点を保存修復	
周知・刊行物	・市広報誌、新聞等の活用	随　時			
	・資料館ホームページの充実と活用	随　時			
	・「ふるさと散歩ガイドブック」の発行	1回		市内の石碑や歴史的ゆかりのある場所を紹介	
	・郷土資料館だよりの発行	年4回		郷土資料館の事業案内を活動紹介	
	・小学校へのチラシ配布	夏季休暇中の事業中止のため実施しない		郷土資料館の事業案内	
	・転入者に対する利用案内の配布	通　年	一般市民（転入者）	転入者に対して恵庭市を理解するための学習施設の存在をPRする	
啓発活動	・館内説明案内サービス	随　時	一　般	館内説明の充実	
	・学校教育等との連携	通　年	一　般	学校教育・社会教育学習団体に対する利用促進の働きかけ	

令和 3 年度　郷土資料館資料館担当事業について

・展示事業

7 月 24 日より約 1 カ月間、企画展「漁川と人々のくらし」を開催します。恵庭市内の中央を流れ、かつては漁・島松両村の境界線にもなっていた漁川が人々のくらしとどのように関わってきたのか、時代を追って紹介します。また、例年 8 月 15 日の終戦記念日にちなんで実施しております「戦争資料展」は、8 月 1 日より今年も常設展示室昭和・戦後ステージを撤収して合わせて開催します。

・教育普及事業

ふるさと散歩見学会（郷土資料館ボランティアの会との共催事業）は、ガイド養成学習会の後、見学会を開催する事業ですが、先行き不透明なコロナ禍において、ガイド希望者を募るのは困難と判断し、昨年に引き続き中止することとしました。観察会については、各講師と相談の上、中止とし、複数の参加者が同じ資料を手にとる体験学習会は、当初より実施しないこととしました。

昨年度中止した、市内 8 小学校に資料を巡回・貸出を行う「ふるさと教育宅配事業」は、6 月より実施しています。昨年度までは、学校から学校へ資料を巡回させ、資料には実際に手を触れられることが特徴の一つでもありましたが、今年は感染リスクを避けるため、資料を一度資料館へ持ち帰り、アルコール消毒の後、次の学校へ届けることとし、各校のふるさと教育担当教員とも相談の上、資料には手を触れないよう注意書きを表示して実施しております。

・資料収集

新収蔵資料は、4～6 月の 3 カ月で 115 点の資料を受け入れております。明治～昭和初期まで商店を営んでおられた方の親族等から生活用具を中心に寄贈を受けました。

聞き取り調査については、長時間対面でお話をする形をとることになるため、実施を控えております。また、これまでに実施してきた聞き取り調査データの活用に関しては、文字情報の記録としてだけでなく、資料管理用パソコンの新規購入（令和 3 年度予算に計上）により、動画編集が行いやすくなりますので積極的に展示にも取り入れていく予定です。

・周知・刊行物

ふるさと散歩見学会（郷土資料館ボランティアの会との共催事業）のテキスト兼資料として「ふるさと散歩ガイドブック」の作成を予定していました。今年度事業は中止しましたが、石碑や身近な歴史的ゆかりのあるスポットを紹介した次年度以降も日常的に使用できるガイドブックを想定して作成します。

令和3年度　史跡カリンバ遺跡整備事業について

1．史跡整備の方向性について

８月 10 日に保存科学専門の文化庁文化資源活用課の文化財調査官に来恵いただき、4年間の史跡水文環境調査結果と今後の史跡整備の方向性についてアドバイスをいただく予定です。上記のアドバイスを受けた上で、令和4年度から国庫補助事業を利用して史跡低地面の整備（旧カリンバ川の水路の整備や危険木・支障木の伐採等）を開始する計画です。

2．史跡環境整備

（1）ごみ拾い・花植え　5月 29 日（土）に地元住民やカリンバの会と共同で開催予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止のため中止としました。花壇の花植えは5月 27 日に教育部職員のみで行いました。

（2）草刈り　年2回行います。入札の結果、牧場造園が 1,210,000 円で落札し、1回目は6月9日から 19 日に実施しました。2回目は8月下旬を予定しています。

令和3年度　西島松5遺跡の資料整理について

1．　遺物リスト化

平成 12 年度に（公財）北海道埋蔵文化財センターが発掘調査した西島松5遺跡出土遺物のうち、6～9世紀の擦文前期の土坑墓出土金属製品や土器等約 300 点がとりわけ価値の高い遺物であることから、令和2年度から文化庁美術工芸課の文化財調査官を招聘し、遺物の整理（抽出、リスト化、台帳作成等による資料価値の磨き上げ）を行っています。今年度は4月 21～23 日に文化庁調査官が来恵し、土器 62 点のリスト化を行いました。文化庁調査官は令和4年 1 月には再度来恵し、金属製品 100 点程度のリスト化を行う予定です。

2．三菱財団50周年記念特別助成「第2回（2020 年度）三菱財団文化財修復事業助成」

西島松5遺跡出土刀は、令和2年6月に三菱財団による 314 万円の助成（100%）が決定し、劣化が進む刀3点について奈良市の（公財）元興寺文化財研究所で保存処理中です。9月には保存処理を終えた刀3点が恵庭に返却され、10 月から郷土資料館で展示を行う予定です。

令和3年度　アイヌ政策推進交付金事業について

1．アイヌ墓副葬品等保管室空調設備設置事業

恵庭市内のアイヌ墓出土の副葬品等は定められた範囲で展示・活用を行いつつも、通常は恒温恒湿で適切に保管することで恵庭の貴重なアイヌ文化財を永く後世に伝えることが重要です。そこで郷土資料館が管理する埋蔵文化財整理室の書庫を改修し、恒温恒湿環境下でアイヌ墓副葬品等を保管できる部屋を設置します。入札の結果、坂口水道設備（株）が落札し、7月中旬に引渡しを受ける予定です。その後、枯らし（文化財に有害な物質の除去を行う）やスチール製棚の設置を行い、10 月頃には金属製遺物等の保管を開始する予定です。

2．アイヌ文化マスター育成事業

アイヌ文化を学ぶ意欲がある市内に在住する中高生6名を公募し、7月から令和3年2月まで毎月一回、日曜日にアイヌ文化の講座や国立アイヌ民族博物館（白老町）などの見学を行います。10 月の土日には、1泊2日でアイヌ文化が根付き体験メニューが豊富な釧路市阿寒で研修を行い、本市の多文化共生社会の実現へとつなげるための次世代のリーダーを育成します。事業完了時には参加者に報告書の提出を求めるとともに報告会を開催する予定です。公募は5月に行い、恵庭市アイヌ施策推進委員会による選考の結果、中学生4名が参加することとなりました。

3．アイヌ文化学習見学会事業

7月 31 日（土）に公募した市民をだて歴史文化ミュージアムと国立アイヌ民族博物館に大型バスで引率します。新型コロナ感染拡防止対策のため、定員は 25 名に抑えました。単なる見学会にならないようにするため、学芸員や文化庁調査官に解説を依頼するなどし、アイヌ文化やアイヌと和人とのかかわりを深く学べる機会を提供する内容としています。公募は広報7月号などで行いましたが、2～3日で定員に達しました。

令和3年度　市内遺跡金属製品保存処理について

市内遺跡のアイヌ墓等から出土した刀類や刀子等 13 点について保存処理を行うものです。4月 27 日に奈良市の（公財）元興寺文化財研究所と 3,663,000 円（1/2 は国の補助金、1/4 は道の補助金）で契約を結びました。現在、奈良で保存処理中です。

令和３年度　埋蔵文化財の保護について（7 月 13 日現在）

１．発掘調査

（１）ユカンボシ E1 遺跡
調査原因：個人住宅建築に伴う行政目的記録保存調査
調 査 地：恵南 6-8
調査面積：270 ㎡　調査期間：５月 24 日～10 月 29 日（予定）
遺構：焼土３基
遺物：縄文時代後期末の土器・石器が主体を占める
（コンテナ 60×40×20 ㎝：22 箱）

２．試掘・所在調査

（１）島松寿町２遺跡
調査原因：個人住宅建築に伴う試掘確認調査
調 査 地：島松寿町２丁目 2-6　調査面積：285.76 ㎡
調査期間：４月 26 日　遺構・遺物：なし　調査結果：慎重工事

（２）島松寿町２遺跡
調査原因：宅地造成に伴う試掘確認調査
調 査 地：島松寿町２丁目 7-3・4・7・8　調査面積：1,387.18 ㎡
調査期間：４月 26 日　遺構：遺物：なし　調査結果：慎重工事

（３）穂栄遺跡
調査原因：送電線鉄塔移設工事に伴う試掘確認調査
調 査 地：穂栄 323-1 ほか　調査面積：6,236 ㎡
調査期間：５月 13 日・６月 22 日　遺構・遺物：なし　調査結果：慎重工事

（４）漁川１遺跡
調査原因：緑化フェア推進事業に伴う所在確認調査
調 査 地：中島町３丁目 1-3 ほか　調査面積：500 ㎡
調査期間：５月 28 日　遺構・遺物：なし　調査結果：着工可

（５）遺跡外
調査原因：緑化フェア推進事業に伴う所在確認調査
調 査 地：南島松 575 ほか　調査面積：32,000 ㎡
調査期間：５月 28 日　遺構・遺物：なし　調査結果：着工可

（６）柏木川 12 遺跡（隣接地）
調査原因：太陽光発電所設置に伴う所在確認調査
調 査 地：柏木町 665-1 ほか　調査面積：8,116 ㎡
調査期間：６月 17 日　遺構・遺物：なし　調査結果：着工可

（７）トーウイソ川１・２遺跡（隣接地）
調査原因：整備場新築工事に伴う所在確認調査
調 査 地：戸磯 201-16　調査面積：7,842.33 ㎡
調査期間：６月 30 日　遺構・遺物：なし　調査結果：着工可

３．工事立会

（１）ルルマップ川 17 遺跡

立会原因：宅地造成工事

立 会 地：西島松 123-1 ほか　立会面積：1,660 ㎡

立会期間：５月 6～12 日

立会結果：土坑５基（うち１基は縄文前期尖底土器の墓）、土器・石器等

（２）トーウイソ川３遺跡

立会原因：倉庫等新築工事

立 会 地：戸磯 347-9　立会面積：2,475 ㎡

立会期間：５月 24 日～（継続中）

立会結果：遺構・遺物なし（７月 13 日時点）

（３）ユカンボシ E4 遺跡

立会原因：倉庫等新築工事

立 会 地：戸磯 391-1 ほか　立会面積：35,816 ㎡

立会期間：令和２年 10 月１日～（継続中）

立会結果：遺構・遺物なし（７月 13 日時点）

（４）トーウイソ川１・２遺跡

立会原因：工場新築工事

立 会 地：戸磯 47-15　立会面積：3,036 ㎡

立会期間：４月 26 日～（継続中）

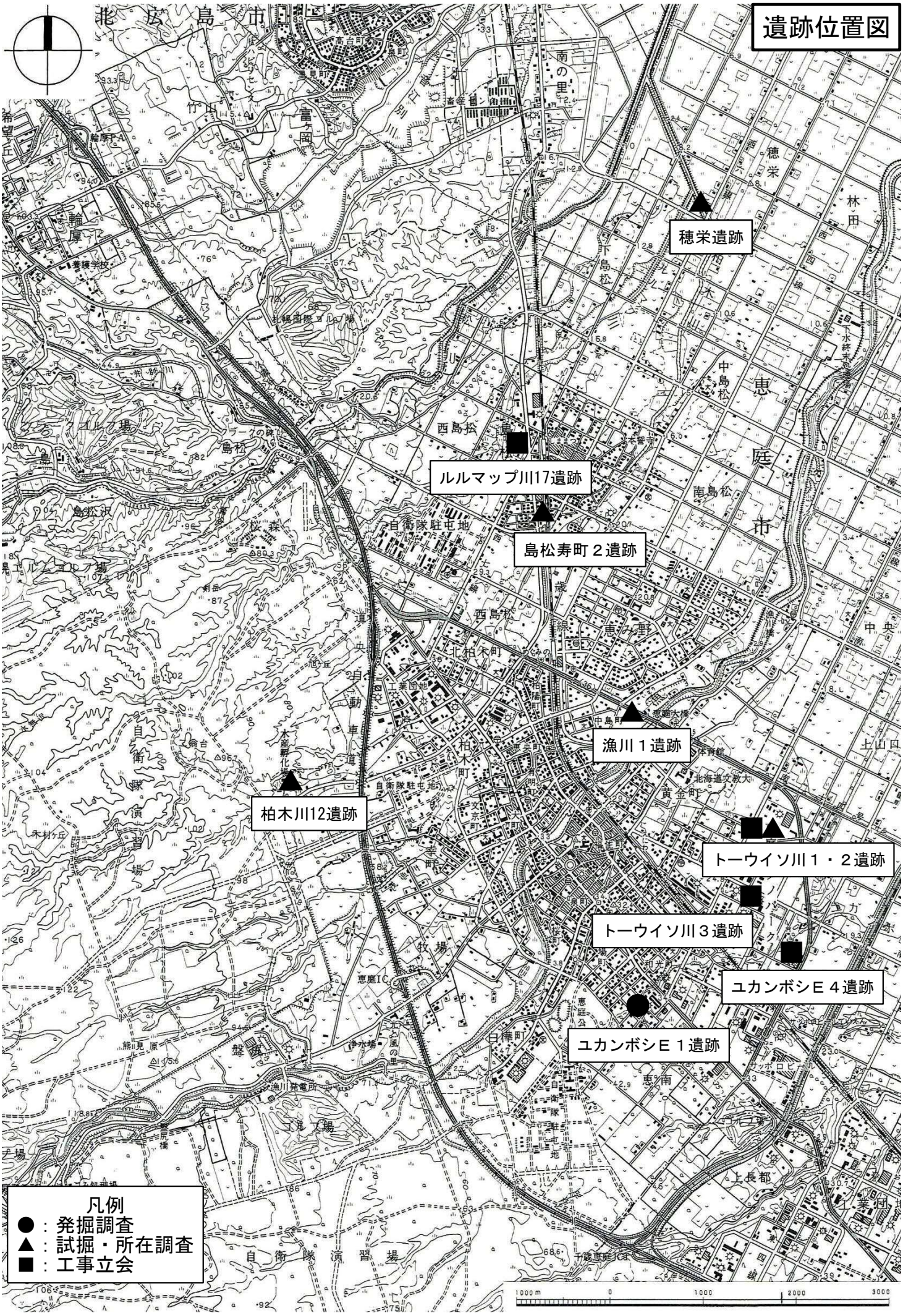
立会結果：竪穴建物跡１基（縄文早期東釧路系）、土器・石器等（７月 13 日時点）

４．埋蔵文化財保護のための事前協議

９件

５．埋蔵文化財包蔵地の照会

36 件


遺跡位置図
穂栄遺跡
ルルマップ川17遺跡
島松寿町２遺跡
漁川１遺跡
柏木川12遺跡
トーウイソ川１・２遺跡
トーウイソ川３遺跡
ユカンボシＥ４遺跡
ユカンボシＥ１遺跡
凡例
●：発掘調査
▲：試掘・所在調査
■：工事立会